

# 栃の木からの手紙

2022年 如月 2月号



- 1日： 新月 : 旧正月 1月1日
- 3日： 節分
- 4日： 立春
- 11日： 建国記念日
- 17日： 満月 : 旧 1月17日
- 19日： 雨水

前年（12月販売開始）より2ヶ月早めて昨年10月から「ふるさと21」の通信販売を開始した有機ビーツ。年が明けて1月末で4ヶ月に渡る販売が

完了しました。完了と言っても品物が全部無くなったわけではなく、外品はまだ在ります。製品として販売レベルに乗らない物をどの様に活かして行くかが課題です。

有機JAS専用通販サイト「ふるさと21」での販売状況は、下記の様になっています。

	2020年産	:	2021年産
販売期間	: 12/1~2/19	:	10/1~1/22
販売量	: 368kg	:	496kg
販売都道府県	: 27地域	:	33地域
	: 東京都 28%	:	東京都 19%
	: 北海道 16%	:	大阪府 11%
	: 大阪府 7%	:	千葉県 8%
	: 24県 49%	:	36県 62%

有機ビーツの2020年産は、ふるさと21の他に地元COOPや道の駅「ほのか」にも出していました。2021年産は、「ふるさと21」のみでの販売としました。

徐々にビーツの認知度が高く成って来ている様で販売地域が広がっています。また、シーズン中に3、4回と定期的に注文されるリピーター様も増えてきています。

今年の栽培としては、ビートポットでの一般栽培を辞めて全て有機専用培土を用いてセルトレーで時期を分けて栽培する予定です。2反近くのビーツを時期をずらして手で移植することになります。その為に、苗づくりのイメージを掴んでおかないとなりません。36枚のトレーで有機培土4袋使用。移植は、200m<sup>2</sup>4本分で5畝。これを3、4回作らないとなりません。

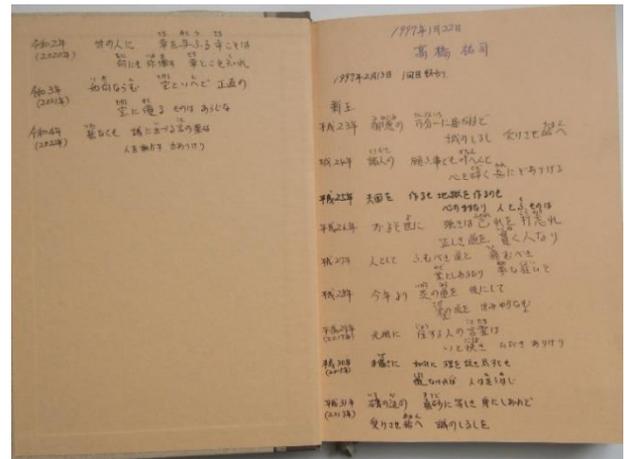
- ① 4月初め播種36枚 → → → 5月中旬移植
- ② 4月下旬播種36枚 → → → 6月初め移植
- ③ 5月中旬播種36枚 → → → 6月中旬移植
- ④ 6月初め播種36枚 → → → 7月上旬移植

育苗の128穴のセルトレーを80枚用意。40枚を乗せられる育苗台を2か所準備。

有機専用培土を20袋用意する。育苗台の準備が一番大変になりそうです。

昨年は、4月初めの播種で、移植後に塔立ちが多く発生しました。

2011年3月から自然農法美幌会の大西会長に代わり私が会長を務めさせて頂き会報を書き始めました。また、個人的に年の初めに頂いていた新玉の言の葉を教修要綱に書き留めていました。不思議と導かれ、お使い頂いている気がします。



2011年 (平成23年)

御恵みの 万分一に届かねど 誠のしるし 受けさせ給へ

2012年 (平成24年)

諸人の 願ふ事ども叶へんと 心を砕く 吾にぞありける

2013年 (平成25年)

天国を作るも 地獄を作るのも 心のままなり 人とふものは

2014年 (平成26年)

およそ世に 強きは己を打忘れ 正しき道を 貫く人なり

2015年 (平成27年)

人として ふむべき道と 務むべき <sup>わざ</sup>業としあるなり 夢な狂ひそ

2016年 (平成28年)

今年より 茨の道を後にして 栄えの道を 進みゆかなむ

2017年 (平成29年)

光明に <sup>じゅう</sup>住する人の言霊は いと快き ひびきありけり

2018年 (平成30年)

ま備さに <sup>つぶ</sup>如何に理を説き尽すとも <sup>しるし</sup>徴なければ 人は足らはじ

2019年 (平成31年)

磯の辺の 真砂に等しき身にしあれど 受けさせ給へ 誠のしるしを

2020年 (令和 2年)

世の人に 幸を与ふる幸こそは 何にも <sup>いや</sup>弥増す 幸とこそ知れ

2021年 (令和 3年)

如何ならむ 宝といへど正直の 宝に優る ものはあらじな

2022年 (令和 4年)

<sup>つた</sup>拙なくも 誠に出づる言の葉は 人を動かす 力ありけり